

令和8年度 さいたま市立与野南中学校 学校だより



みなみかぜ

南風

第 2 号

令和8年 4月 28日発行

<http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp>

〈学校教育目標〉 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

パールパステルブルーのやさしい心遣い

校長 正田 真由美

与野南中学校の周りでも、桜の花の見ごろが過ぎ、校内にもバラが咲き始め、他の木々もきれいな緑色の葉がすくすくと伸びてきています。始業式、入学式から1ヶ月経ちましたが、新しいクラス、学校生活にも慣れてきた頃でしょうか。1年生は小学校と違い、授業時間が延び、教科ごとに先生が変わり、部活動がありと毎日忙しい中学校生活を過ごしながら頑張っています。なかには、ちょっと疲れている人もいるようですが、掃除の時間や廊下ですれ違う時など、多くの方が元気に挨拶をしてくれます。是非、元気な挨拶を、このまま3年間続けてほしいです。そして、これからも与野南中学校の中で、たくさんの気持ちのよい挨拶が響き渡っていくことを願っています。

1年生は、中学校に入学してから8日目、上野の国立科学博物館と動物園に校外学習に行きました。中学校に入ってから初の校外行事です。私の30年を超す教員人生の中で、こんなにも早く1年生で校外学習を行なったことはありません。そして、欠席なく100%の参加でした。学校から徒歩で南与野駅、電車に乗って赤羽駅で乗り換えをして上野駅まで行きました。その後、上野動物園スタートのAグループと国立科学博物館スタートのBグループに分かれ、それぞれの見学場所の中は、班別行動で自分たちの決めた場所を見て回りました。天気もよく、上野動物園でのお弁当も気持ちよく食べることができて、とてもよかったです。各班、見学時間を守って行動でき、4月17日は、青学年の全員がキラリと輝いた行事のスタートでした。まだ1年生のスタートなので、一人ひとり濃くは濃く青色ではなく、淡くは淡くパールパステルブルーに輝いていました。

この1年生の校外行事のスタートは、武道場に集合からでした。トイレ休憩の時に、ステキな行動をしている1年生を見かけました。これから学校を出発して目的地まで、1時間少しかかるのでトイレは1階だけでは足りず、2階も使用しても長蛇の列でした。私は、1階のトイレを担当していましたが、女子も男子も混んでいて大変そうでした。最後の人まで見届けていると、女子トイレでは入口にスリッパが3足きちんと並んで置いてありました。隣の男子トイレも同じようにスリッパが2足きちんと並んで置いてありました。結構ドタバタしながらトイレに入っていました。最後に使った人たちが、次の人への心づかいができてることがステキだなと思いました。入学8日目にして、このような心づかいができるように成長させてくださった保護者の方や小学校の先生方に感謝したいです。

この1年生の行動が、私の頭に15年ぐらい前のテレビのCMで「『心』は誰にも見えないけれど、『心づかい』は見える・・・」というフレーズを思い出させてくれました。この言葉は、詩人であり、校歌などの作詞家としても有名な宮沢章二さんが作った「行為の意味」という詩の抜粋です。興味のある人は調べてみてください。それから、心の続きの文があって、「『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。」という内容のものです。与野南中生に、この『心と心づかい』と『思いと思いやり』の言葉を理解して、行動できる気持ちを大切にしてほしいと思っています。

4月の1ヶ月が過ぎ、ここまでの時間を頑張り過ぎた人、気持ちをリフレッシュしたい人、5月初旬は、『さいたま市民の日』や祝日など、8日間の長い休みが続くので、ちょっとリフレッシュして心のゆとりを取り戻しましょう。好きなことに没頭する、家族や友達とじっくり話す、美味しいものを食べる、自然を満喫するなどやってみましょう。私は友達と会ったり、美術館に行ったり、自然を感じたりして気持ちをリフレッシュしたいと思います。

